

長野市障害福祉のためのアンケート(当事者団体用)

問1 団体の名称

長野市知的障害者育成会	長野手話サークル	長野市肢体不自由児者父母の会
長野市視覚障害者福祉協会	長野市聴覚障害者協会	長野市中心身障害者相談員協議会
長野県中途失聴者難聴者協会	ポプラの会	長野市障害者スポーツ協会
社会復帰促進会	社会福祉法人長野市身体障害者福祉協会	

問2 サービスを利用するにあたって利用者が抱える課題について、どのようにお考えですか。

	合計	大きな課題である	課題である	それほど課題ではない	無回答
①介護者(親・家族など)の亡き後のこと	10	6	2	0	2
②自己負担額の増によるサービスの利用手控え	10	6	3	0	1
③利用できるサービスが制約されることによる利用手控え	10	4	5	0	1
④障害程度区分の判定結果によるサービス利用の制約	10	3	4	1	2
⑤中山間地に住む利用者の施設利用のこと	10	3	3	1	3
⑥特別支援学校等の卒業生の進路先	10	5	2	1	2

問3 施設入所者の地域生活への移行にあたって必要だと思うことについて、あてはまるものはどれですか。

※利用者からの声や実態をもとに、お答えください。

	合計	とても必要	必要	あまり必要でない	無回答
①地域住民の正しい理解や協力	10	7	1	0	2
②家族・親族の理解や協力	10	7	1	0	2
③地域の相談支援体制の充実	10	6	2	0	2
④日中活動の場の充実(就労、訓練の場・余暇活動など)	10	6	2	0	2
⑤夜間の支援体制の充実(緊急時の対応、介護・医療的ケア等)	10	6	2	0	2
⑥障害程度区分の適正・明確化	10	6	2	0	2
⑦障害のある方の公営住宅の整備、積極的な受け入れ	10	5	3	0	2
⑧住まいの契約時に関する保証人の問題等の解消	10	3	5	0	2
⑨住まいのバリアフリー化の促進(補助制度の拡充等)	10	5	2	1	2
⑩グループホーム等の建設に対する公的支援、補助制度の充実	10	5	3	0	2
⑪入居費用の軽減(家賃補助、運営費補助等の公的支援)	10	6	1	0	3
⑫グループホーム、ケアホームの報酬単価の引き上げ	10	3	3	1	3
⑬社会保障制度の充実(給付、年金、所得保障、税控除等)	10	7	1	0	2
⑭ショートステイの受け入れ体制の整備	10	5	3	0	2

問4 障害のある方の就労、工賃向上のために必要なことについて、あてはまるものはどれですか。

	合計	とても必要	必要	あまり必要でない	無回答
①企業、社会全体が支えあい仕組みづくり	10	8	1	0	1
②家族・親族の理解	10	4	3	1	2
③工賃向上のための取り組み(製品開発、作業の効率化)	10	4	4	0	2
④施設・事業所と企業とのつながり・情報交換	10	5	3	0	2
⑤一般企業への実習、研修制度の充実	10	5	3	0	2
⑥障害者雇用に対する企業の積極的な取り組み	10	8	1	0	1
⑦行政側の積極的な就労先の紹介、斡旋	10	6	3	0	1
⑧ジョブコーチ制度の利用拡充	10	7	2	0	1
⑨特別支援学校とのつながり強化・情報交換	10	4	4	0	2
⑩特別支援学校生の実習受け入れ、体験就労制度の充実	10	4	4	0	2

問5 困ったときの相談機関の必要性についてうかがいます。

(1)困ったときに、地域に身近に相談できる機関は必要だと思いますか

合計	1 とても必要	2 いざと言うときに必要	3 あまり必要ではない	無回答
10	6	2	0	2

(2)下記にかかげる相談内容について、必要だと思いますか

	合計	とても必要	必要	あまり必要でない	無回答
①住まいに関する相談	10	3	6	0	1
②成年後見人制度に関する相談(財産の管理や相続に関する事など)	10	4	5	0	1
③心身の状況に関する相談	10	7	2	0	1
④障害福祉サービスの利用や手続きの方法に関する相談	10	8	1	0	1

問6 平成18年4月から始まった「障害者自立支援法」の内容や理念について、どのようにお考えですか。

合計	1 おおむね賛成できる法律である	2 改善すべき点はあるが、やむを得ない法律だと	3 改善すべき点がたくさんあり、賛成できない法律	無回答
10	0	4	5	1

問7 国や市の福祉施策に対する財源の使い道や、年金や手当などの社会保障制度のあり方について満足していますか

合計	とても満足している	おおむね満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
10	0	0	6	3	1

問8 利用者が障害福祉サービスを利用する際に負担する金額は、家計に与える影響は大きいですか。

	合計	高いと思う	適当な金額である	高いとは思わない	無回答
①障害福祉に関するサービス全般に支払う費用	10	0	4	5	1
②入所施設に支払う費用	10	0	0	6	4
③グループホームなどに支払う費用	10	5	2	0	3
④通所施設(日中利用する事業所など)に支払う費用	10	6	0	0	4
⑤ショートステイ(短期入所)などを利用するときに支払う費用	10	6	0	0	4
⑥施設などで提供される食費や光熱水費	10	5	2	0	3
⑦自宅から施設などへ通うときの送迎・交通費用	10	3	3	0	4
⑧医療に対して支払う費用	10	3	3	0	4
⑨ホームヘルプサービスに支払う費用	10	6	1	0	3

問9 自由回答欄

※別紙参照 ⇒ 長野市 障害福祉のためのアンケート【団体用】 自由回答

長野市 障害福祉のためのアンケート【団体用】 自由回答

	<p>利用者にとって経済的な負担感の大きいサービスや経済的に困っている方の実績などをお書き下さい。</p>	<p>現在、会員の方が受けている福祉サービスの中で、サービスの使いやすさや行政から決定を受けた支給量などにより、利用者のニーズがあるにも関わらず利用が制約されているサービスやもっと使いやすくなれば良いと考えるサービスなどがありましたら、お書き下さい。</p>	<p>障害程度区分の判定結果に基づき、同じような心身の状況や目的意識を持った方が、自立に向けた生活訓練や機能訓練、就労支援の強化による工賃のアップや一般就労に向けた支援など、利用者に応じたより質の高い適切なサービスが受けられることが期待できます。今後、施設・事業所でのようなサービスを受けたいか、または施設・事業所に期待することをお書き下さい。</p>	<p>日ごろの団体活動の中で、会員の方が抱える現在及び将来にわたる共通の悩みや不安など、率直な意見をお書き下さい。</p>
1	<p>・ 沢山あるがプライバシーの関係で話せない。経済的なことを聞いたら怒られた。 ・ 自立しようと努力している方々が多いので、その都合を支援するようにしている。 ・ 介護用品のカタログを配布してほしい。補助対象品が少ない。価格設定の検討。 ・ 福祉医療と自立支援医療との負担について。 ・ ショートの負担が大きい。</p>	<p>・ 特養の入所は難しい。在宅の支援の充実を。 ・ デイサービスセンターの監視を。 ・ 契約の簡易化、わかりやすくしてほしい。 ・ 1回、1か月の使用制限を解除してほしい。 ・ サービスの一覧表をもう少し詳しいものがほしい。 ・ 満足している。 ・ 障害の程度によって違うのではないが？</p>	<p>・ 専門の技術のある人にサポートしてほしい。（住宅改修など） ・ 公共の場所の催し物参加は無料にしてほしい。</p>	<p>・ 一人暮らしの方の今後の介護が必要になった場合の不安。 ・ 医療の関係。 ・ 重度障害者が年をとったらどうするか。これは障害者だけの問題でなく高齢化の問題である。障害者も高齢者も同じである。（介護と障害も一緒） ・ ヘルパーが増え、必要な時に入れるようにしてほしい。（利用料の減額も） ・ 緊急時の対応をお願いしたい。（ヘルパー） ・ ショートの受け入れ枠を増加。（障害者と高齢者が一緒になった時、障害者を優先してくれるのか。隣組の関係の再構築を。） ・ 災害時の避難場所にまで行くことが困難。（いざ災害の時に現場でどう動くのかまで検討が必要。各々の障害によって対応が違う。もう少し細かく計画を立ててほしい。）災害時の重度障害者。 ・ 介護者の高齢化による不安。会員の老齢化の問題。 ・ 障害者の会員になっていない。手帳保持者がいる。把握が難しい。会員同士のふれあいを。 ・ 住民自治協議とも検討を。 ・ 相談員に遠慮なく相談してほしい。 ・ 身障者夫の介護をすることもある。 ・ 温泉施設の無料化を。 ・ 施設に入所する場合はどうしたらよいか？</p>
2	<p>・ 車イス等。 ・ 一人暮らし。 ・ 相談員の位置付けを明確にする。 ・ 施設入所費用が高すぎたためあきらめざるを得なかった例あり。 ・ 福祉サービスを受けるに手続が複雑で分かりにくい。 ・ 障害福祉に関するサービスに支払う費用の高いこと。又、入所施設に支払い費用は莫大です。財産のある人は施設なり病院へ持ち込みユウユウ治療も受けているが、要するにピンボウ人は施設は勿論、病院にも入れない。福祉は最下位の助け合いではないか。 ・ 国や県、地方の行政関係者の再々考を願っている。</p>	<p>・ 身体に障害のある人は勿論ですが本当に見えない所で苦しい日々を送り、表面的には満足の話をしている。家庭の中でも淋しい思いをしている。 ・ 福祉サービスを受けていないので、現実的にはよく分かりません。</p>	<p>・ 高い望みはしないが、工賃が安くても毎日事業所に通えるよう希望する。</p>	<p>・ 高齢者は見捨てられる現在。言葉だけでもよいと思う。若い障害者は親、兄弟がいるが、高齢者はどうしても言葉が強いから特に嫁に嫌われる状況。いろいろあるけど役所には感謝する気持ちの人多々。 ・ 相談員として良くお聞きしてより良い方法を求めていきたいと思います。</p>
3	<p>・ 天引きは厳しい。 ・ 国民年金生活者にとって介護保険料の負担（特に年金からの天引）は、年金収入額の少ない身にとっては大変つらいものである。福祉サービスを受ける際の自己負担分についても日常生活に大きく影響をするので、サービスを受ける回数を控える結果になっています。 ・ 障害年金の年齢制限を撤廃してもらいたい。 ・ 入所施設に支払う費用が高すぎると思う。</p>	<p>・ 中山間地の事業者の育成。 ・ 山間地ではヘルプサービスが協働事業一ヶ所しかないために、利用が制約されるケースがある。市街から来てもらうと交通費が加算されるため高額になる。交通費など公費で助成してほしい。 ・ 自宅リハビリをお願いしているが、人手がないため週一回しか受けられないが、もっと回数が多い。 ・ 現在の福祉サービスが被介護者自身に対する介護の内容は限定されているが、本人の日常生活の中の生活の周辺部の生活支援もサービスの対象になれば良いと考える。 ・ 高速道路、土日1,000円になって、障害者割引よりも安くなっている。障害者割引その意味がない気がする。</p>	<p>・ 就職に長所を引き出す。ジョブコーチを増。 ・ 障害者が一般人と同等又はそれ以上に収入が得られるような就労支援をしてほしい。たとえば、頭脳労働をするためのテストの予備校的施設を設立して指導していただき、障害者が多数、頭脳労働に就くことができれば高収入が得られると思う。 ・ 一人一人の障害者の長所、能力を見出し、その適正に合った訓練が受けられれば、就労の強化になるのでは。ジョブコーチの強化により、就労の定着率の向上を望む。 ・ 賃金アップを是非お願いします。 ・ 障害程度により一般就労に向け、利用者に適切なサービスが受けられるように。</p>	<p>・ バリアフリーでどこへでも行ける町づくり。 ・ 障害者用駐車場に一般人が駐車してしまうことに対する悩み。 ・ リフト付バスにしてほしい。（山間地のバス） ・ 山間地でも町と同じサービスが受けられるようにしてほしい。 ・ 障害者団体の会員構成が高齢化している超高齢の組織になっているために団体組織の維持が困難になっている。若い年齢層にとって、魅力ある団体作りになっている。行政とともに若い人達に働き掛ける方策は無いものか？ ・ 将来の生活（経済的）。 ・ 相談員としてどこまで言って良いか考えさせられます。 ・ 障害者の状況による福祉サービスの利用や手続きの方法に関する相談の対応について行政の対応。 ・ 22年度より住民自治協議会にて、障害者の対応及びサービスについて。</p>
4	<p>・ ひきこもりで出がけない人がいて、手話サークルなどで交流してほしい。 ・ 手話通訳者の育成の必要。 ・ スポーツはゲートボールが盛ん。交流が盛んになってよい。 ・ 市協会に入るメリットは機関紙が情報誌となっている。</p>			

長野市 障害福祉のためのアンケート【団体用】 自由回答

	<p>利用者にとって経済的な負担感の大きいサービスや経済的に困っている方の実績などをお書き下さい。</p>	<p>現在、会員の方が受けている福祉サービスの中で、サービスの使いやすさや行政から決定を受けた支給量などにより、利用者のニーズがあるにも関わらず利用が制約されているサービスやもっと使いやすくなれば良いと考えるサービスなどがありましたら、お書き下さい。</p>	<p>障害程度区分の判定結果に基づき、同じような心身の状況や目的意識を持った方が、自立に向けた生活訓練や機能訓練、就労支援の強化による工賃のアップや一般就労に向けた支援など、利用者に応じたより質の高い適切なサービスが受けられることが期待できます。今後、施設・事業所でのようなサービスを受けたいか、または施設・事業所に期待することをお書き下さい。</p>	<p>日ごろの団体活動の中で、会員の方が抱える現在及び将来にわたる共通の悩みや不安など、率直な意見をお書き下さい。</p>
5	<p>・自立支援法では地域で生活することを理念のひとつにしているが、地域で生活するために利用するサービスは必ず自己負担が発生し、経済的負担が大きい。特にグループホームの家賃や移動に要する費用は金額が大きく、年金だけでは不足する状態である。自己負担はやむを得ないが、もう少し負担軽減できるように公的補助が必要。 ・利用負担がかかる。 ・余暇利用としての休日の外出などは、交通費、宿泊料、見学費等介護職員の分も負担となるので、料金が高くなり、多く利用したくても考えてしまいます。 ・余暇利用の際の車の送迎をナイト・ケアと同等の扱い金額にさせていただけたらと思います。 ・親も年金生活をするようになり、病気がちでもあるという場合。 ・自立支援法によって障害者も地域の中で“ふつう”に暮らせることはとてもうれしいことですが、収入が年金のみの重度の障害者にはグループホームでの生活はとても大変です。親が元気なうちは子供のために補助をして休日などの外出の出費もなんとかしていますが、日中活動（作業所等）の送迎費。休日、余裕のない重度の障害者はいつもいつもテレビを見ているというのでしょうか。施設側の運営も大変の中、家賃補助などの公的支援の必要性を強く感じます。グループホームで生活させてあげたいけれど、とても続かないという親の声をあちこちで聞くこの頃です。</p>	<p>・グループホーム、移動に要する費用負担が大きく、結局、余暇活動をあきらめ費用を捻出せざるを得ない。 ・ナイトケアも2ヶ月に1回程度しか利用できない。 ・休日の外出は人員制限があり、早い者勝ちとなり、希望しても利用できないことがある。 ・グループホーム、ケアホーム等は施設がまだ少ない。 ・施設の職員数、待遇など改善されればサービスも使いやすくなると思います。 ・ナイト・ケアの回数を増やしていただけたらと思います。 ・休祭日などの余暇利用を望む利用者に対して施設側の提供が充分でないので、もっと施設側に公的補助を増やしてほしい。</p>	<p>・同じ重度でも車椅子利用の障害者の方はどうしても支援を必要とする場面が多く、また軽度の方は言葉によるコミュニケーションもとれるので職員との意思疎通もありますが、その中間のある程度で身の回りもできて言葉がない人は素通りされがちに思われます。その辺の対応を向上させて頂きたいと思います。生活訓練施設になってから、以前できていたことも段々でなくなってきました。 ・施設、事業所など受け入れ側、もう少し理解していただきたい。</p>	<p>・親亡き後のことが一番の心配であり、このことにつける。障害者の人権が守られてこそ親が安心できる。 ・親が高齢になって子供に係る負担は変わらないので、身体的にも大変になってきます。特に持病があったりすると、毎日が大変です。団体の活動も高齢化、独り親世帯が多くなり、活動が役員まかせで思うように進まない状況です。若い人は働いている方が多く、役員にはなりたがらない傾向があります。 ・人権問題。 ・親御さんが老齢化し自宅に居られなく障害者の日常的な世話が出来なくなったとき、受け入れてくれるところ（その人に合った）ところがあるのだろうか。又、金額の負担等も心配。 ・施設に入所していても、また地域の中で生活していても最終的に一番の悩みは“親なきあと”“親が具合が悪くなった時”子供は大丈夫だろうか、幸せに暮らしていただけるだろうか、そのことに尽きます。親と同時に死ねるのなら、多分心配はほとんどないでしょう。いつでも心にその不安を持ち続けることの“つらさ”がわかりますか。そんな心配をしなくていい障害者の支援を行政の立場から積極的にお願いしたいと思います。</p>
6	<p>・親、兄弟姉妹などなく入所施設に入っている方が、外部の余暇活動で少し金額的に高い行事には参加せずにいる事、楽しみにしている様子なのに残念に思う。 ・障害程度区分の判定結果により、グループホームやケアホームに支払う費用が増える事による経済的負担。</p>	<p>・休日の余暇利用をお願いしたいが、ヘルパーさん不足など職員さんの休日も必要なので、なかなか出られないようなので、外出が増やせるといいと思う。</p>	<p>・工賃のアップを取り上げるとそこにはばかり力が入りすぎ、個々の能力を越え、精神面でのストレスを生じたり、身体的な面では時々休みながらとか、適当な運動を途中でしながらとかいう感じではない労力が必要でもそれから分らず、力が入り過ぎて体を痛めてしまう事がある。個々の能力の見極めをしっかりとした上で、様々な訓練に取り組んで欲しい。 ・できる作業や手仕事があっても、良い指導者がいない事が残念だと思っています。</p>	<p>・知的障害者の大部分の人は、老化が一般の人より早いと感じます。初期の痴呆の様な症状が時に見られて不安という保護者が多い。 ・親亡き後の事が心配な方が多いです。 ・職場であれ、施設であれ、ジョブコーチや指導員の充実をはかってほしいです。 ・今、一番は職員さん方のお給料をもっと上げてほしいというのが願いです。長くこの仕事を続けていただきたいです。 ・ひとりひとりの能力に応じた仕事（目標）があって、いきいきと生きられ地域づくりを目標にすて基本計画をたてていただきたい。</p>
7	<p>・（社協の金銭管理）の本人負担金が増えれば利用したい人は多くいる。 ・障害者自立支援法の利用者負担額で、夫婦世帯の方の負担9,300円は工賃を得ても半分くらいの割合になってしまっていて働く意欲の減退につながる、という人がいます。 ・福祉医療の利用範囲を広げていただけて安心して他科にかかる。</p>	<p>・高齢者用グループホームが必要だが、現在のものは24時間体制のケアが受けられず、精神科の入院へ戻ってしまうケースがある。24時間体制を整えて欲しい。</p>	<p>・判定が極端に軽く出て、現状と合わないケースが目立ちます。調査内容が介護保険に偏りすぎていると思われまます。</p>	
8	<p>・“送迎”については各事業所で苦労している実情あり。是非とも移送事業として補助をお願いします。 ・グループホーム等の利用を考えているが、負担が大きいようで不安です。 ・ケアホームに入所、利用料、日中活動費だけで本人の年金は殆どなくなる。医療機関も3ヶ所通院しており、土日の生活費、生活用品、医療費の一部等々、親の持ち出しが多く負担大で将来が不安。 ・中山間地域に住んでいるので、子供に合う通所授産所に通うまでの交通費が高い。月2万円かかる。交通費の補助ももう少し上げてほしい。</p>	<p>・送迎サービスの新設を要望します。 ・成人に合った施設がないし、選べない。 ・療育手帳と別にカードを発行してもらえとバス乗車に便利です。 ・どこへ行くにも非常時にはタクシーを使うようになります。大阪では500円値引き券などあるので送迎サービスを安くして欲しい。（通所サービスを充実）</p>	<p>・工賃アップを考えてほしい。 ・施設・事業所の努力には限界がありますので、行政（市）の積極的開拓を望む。 ・施設・事業所へ本人がいきいきと通えるように単調な仕事の繰り返しではなく、事業・余暇活動などを展開して行って欲しい。 ・放課後・休日サポート。施設までの送迎に頭を痛めています。 ・判定基準が高齢者向け、身体機能中心で社会性など対人対象への対応など不十分。本人の障害の質と程度がわかるような判定基準を作してほしい。知的障害者の個別の理解はかなり高度な専門性が求められるが、行政スタッフ、施設職員も不十分。（それぞれの方は懸命にやって下さってはいるが。）</p>	<p>・市からの補助金が少ないために活動資金の実質負担額が大きい。新会員の入金しづらい状況です。もっと福祉課もかかわっていただき、会員増、活性化に力を貸して欲しい。 ・親なき後も安心出来るように、成年後見人制度の充実を行政にもかかわってほしい。 ・介護者亡き後の生活について安心出来る社会を。 ・入所施設利用者の親が会をぬけていく。困った傾向だ。 ・会費負担に抵抗があるようで低減できないが。 ・パニックを起こした時、押さえきれなくなってきた。家族以外の人の手を借りたいと思うことがある。</p>
9	<p>交通費。バスの便が悪くタクシーを使う場合が多い。</p>	<p>ホームヘルパーの利用時間。</p>		<p>盲養護老人ホームの建設</p>

長野市 障害福祉のためのアンケート【団体用】 自由回答

	利用者にとって経済的な負担感の大きいサービスや経済的に困っている方の実績などをお書き下さい。	現在、会員の方が受けている福祉サービスの中で、サービスの使いやすさや行政から決定を受けた支給量などにより、利用者のニーズがあるにも関わらず利用が制約されているサービスやもっと使いやすくなれば良いと考えるサービスなどがありましたら、お書き下さい。	障害程度区分の判定結果に基づき、同じような心身の状況や目的意識を持った方が、自立に向けた生活訓練や機能訓練、就労支援の強化による工賃のアップや一般就労に向けた支援など、利用者に応じたことが期待できます。今後、施設・事業所でのようなサービスを受けたいか、または施設・事業所に期待することをお書き下さい。	日ごろの団体活動の中で、会員の方が抱える現在及び将来にわたる共通の悩みや不安など、率直な意見をお書き下さい。
10	・難聴者の多くは補聴器や人口内耳で聞き取りを得ている。その機器の電池代等もかなりになる。(6個入れ1ケース700円1回使用2個3日間で終る) ・時々障害者福祉施設にボランティアで妻と共にやっている。内部のことはわからないが、スタッフ不足からオーバーワークの実態が読みとれる。	・要約筆記通訳派遣について、県内で市町村格差がある。条例に明記されていないでも障害者本人が必要であれば、支給して欲しい。 ・市の広報や各種講座、講演会に要約筆記通訳が付くことはまれてある。一般対象であるならば付けて欲しい。		・会員の聞こえのレベルがまちまち。音は聞き取れても言葉の聞き分けが難しい会員が多い。障害認定をデジタルでなく、日常必要な聞き取り明りょう度で認めて欲しい。 ・会員同士のコミュニケーション方法がひとりひとり違うため、必ず通訳者が必要であるのに、その辺が理解してもらえず、派遣制度が定着できていない。行政側でしっかり理解して欲しい。
11	・殆どの方が収入がない。医療や福祉サービスで自己負担があるのがおかし。障害年金6万では生活するのは無理。	決定される支給量は少ない。精神障害者ヘルパーが少ない。精神障害者ヘルパーでも精神疾患への理解が足りない。精神障害者に対するホームヘルプは身体介護、家事援助よりも精神的なサポートを重視して頂きたい。	精神障害者の大多数は施設・事務所を利用できず在宅で引きこもっている。施設は相談支援事業として在宅で引きこもっている当事者や家族の相談に力を入れて頂きたい。	・例会、役員会などの活動の場所を取り上げないで市の保健所を引き続き使用させて頂きたい。精神障害者の大多数は自宅に引きこもり、老いた親が世話をしている。当会はそのような当事者や家族のサポートをしている団体なのでもう少し人的、経済的な援助を増やして欲しい。福祉医療の対象を他障害なみに拡大してほしい。
12	・手話通訳及び要約筆記派遣事業において、派遣範囲の制限があるため障害者の方が十分な情報保障が得られなかったり、社会参加や生涯学習の機会をあきらめてしまうことがある。又、そのような方々を応援しようとボランティアで通訳をしたり、同行する姿がある。派遣範囲を拡大(特に生涯教育、趣味の講座、高額商品を購入する際の説明)を希望します。・聴覚に障害のある方が、気軽に相談出来る場を希望します。		・通訳者の将来性。(必要性や重要性は認識されているにもかかわらず、職場が少なかったり、不安定な職業であるので会員及び通訳者が増えていない)	
13	給与が低くおさえられてしまう。日常生活用具(火災報知機)の給付の拡大。	日常生活用具。(火災報知機)緊急災害のお知らせ装置。手話通訳者等の派遣範囲の拡大。		・民生委員も方の訪問。・ろう者のための施設。・電光掲示板。・特別支援学校(ろう学校)の近くに(近く以外も。市内全域に・・・)信号の待ち時間表示。・聴覚障害者協会の事務所の設置。・ろうあ者相談所の設置。・市障害者福祉センターの機器が古い。
14	GHが沢山ほしい。福祉タクシー等の割引のサービスが少ない。3障害を一元化というのにまだ差別がある。軽自動車の減税。医学関係者に自立支援の医療具制度の紹介をするように伝えて欲しい。	・独居の人に有償でもいいので(庭の手入れができない)してくれるサービスがほしい。・ホームヘルプ、家事援助、身体介護ではない“そばにいてほしい”だけのサービスをわかかってほしい。・緊急にサービスを使いたい場合にすぐ使える体制が欲しい。・サービスの内容について利用者にわかりやすく説明。・移動支援の相手の交通費を出すのが大変、仕事に行く時にもついてほしい。	・就労したい意欲はあるのに、就労に結びつかない人が殆ど。就労できるような支援がほしい。・就労支援サービスと実際の就労とあわない。・ジョブコーチ、ワーカーなど市で独自のプランがあると良い。	・障害者の偏見をなくして欲しい。(市役所職員をはじめとして研修をして理解してほしい。) ・職員から理解をしっかりとしてほしい。 ・就労相談サービスを充実してほしい。 ・家族が正しく理解しているかによって、本人の病状は大きくかわってくる。保健所、保健センターで家族の方々に対して、勉強の機会を設けて欲しい。
15	福祉サービスの事業所へ通所している人にとって、通所する事がその人にとって「福祉サービス」を受けることになり、本人に負担金が発生することになり、経済的な負担から福祉事務所へ通所する事が困難となるケースが多くあるのは困る。	介護保険サービスの認定を受ける際に、サービスのニーズは高いにもかかわらず、本人がサービスの調査を受ける際の要領の良し悪しにより、最終の「障害程度の認定量」について差が生ずるケースがある。調査員の「特記事項の記載」「医師意見書の記載」等の充実を望む。	企業に於ける就業訓練の充実やジョブコーチ機能の充実等により、障害者の就労率の向上を期待する。	会員の抱える最大の悩みは高齢化に伴う、後継者不足だと思います。協会・支部を問わず障害者は増加するにもかかわらず、入会率が低く、特に若い会員の入会率は0に等しい。したがって会としての存続がむずかしくなっている。
16	・重度障害者は障害者年金のみが収入減であるか、サービスを複数利用をせざるを得ないなかで、1割の自己負担は大きい。若い世代の負担が増。	・通所施設を利用しているが、両親が働いている状況で迎えの時間が早くなれないか。(出勤時間に重なる) ・ケアホームで生活しているが、ガイドヘルプサービスなど外出時の制度を利用できるが、時間当km当の自己負担が大きいのであまり利用できないので負担減を。 ・食費負担。	・専門知識を持った職員を増やして欲しい。(制度で決まっていると云われれば何も言えないが。) ・スタッフの人間性。CH支援員、世話人の質の悪さ。ただ見ている。障害者への対応。「手抜き」「言動」人材、ソフト面の充実。 ・施設へ言えない部分がある。	・会員が高齢化になり活動が低迷している。加入促進や活動内容の検討が必要。 ・親なきあとの子供の将来。

	施設・事業所の種別	利用者にとって経済的な負担感の大きいサービスや経済的に困ってる方の実績などを御記入ください	利用者のニーズに応じたより質の高い適切なサービスを提供するために、施設・事業所が今後目指すべき取り組みや方向性について御記入ください。
1		経済的に困っている方。電気等とめられている。	・施設が狭く2階にあるため、安全確保が課題。
2	就労移行、就労継続B	障害福祉サービスの利用者負担額は自立支援法施行当初に比べると軽減されてきてはいますが、配偶者の所得は控除の対象となっていないため、途中で障害をもちたれ、家族が代わりに働いている家庭等は依然負担額が多く大変な現状にあると思います。	事務所間でのネットワークの構築
3	就労移行、就労継続B型	自立支援法、利用者負担、上限9,300円の方が1名働いた工賃、3万円の1/3を支払わなければならない、負担感はかなり大きい。高齢者のグループホームがないので困る。もし認知症のグループホームに入ったとしてもその方達と障害も異なり合わない上、利用料も高い。	ニーズとしてはわずかだが通所のための送迎サービスが提供出来ると良い。出来れば、安全面を考えて二種免許のある人を雇用したり、タクシー会社と契約出来ると良い。そのための補助金があると良い。
4	就労移行、児童デイ、行動支援	就労している事を条件に、障害年金の受給ができない障害者が増えている。精神2級：勤続2年目で調査が入り、受給取消（年収112万円） 精神2級：勤続3年目で同上。（年収120万円） 知的B1：勤続（就労）しているため20才で支給申立をするもダメ。	職員の質の向上を図り、個別支援を徹底させる。 重度の障害者の受入を図り、日中活動の場を提供したい。 グループホーム、ケアホームへの単価向上があれば、正規職員の負担を減らしながら取組みたい。 入所施設の存在を認め、充実を地域として図りたい。
5	B型	送迎がない為、交通費（タクシーなど）の負担が多い。	施設の指導員の確保、人件費の確保など。専門職の指導員が必要。
6	地活・通所授産施設	国民年金2級の受給の方々には生保適用の方々比べてずっと苦しい生活をしています。年金だけで頑張ろうとしている人は見ていると気の毒ですが、生保受けたくない！と頑張っている人、立派？です。 三障害一緒といっても現状は精神の人、刃をくっているところが多くて何とかしてほしいところです。	利用者ニーズは「ずっとここで生活したい！」のようです。これに対して事業所の基本理念（地域生活・社会復帰への支援）はギャップがありますが、収容施設化してゆきたくない！との思いを今後の方向性にするのはムリでしょうか。 障害特性を差別の材料としないような働きかけをしていきたいものです。
7	生活介護、就労継続B型、就労移行支援	障害をもった方々には現状では障害基礎年金以外の所得保障がありません。そんな中で我々施設では少しでも工賃を上げたいと努力していますが、なかなか大変です。こんな現状の中におかれている障害者にとってサービスごとに請求される自己負担はとても大きくのしかかっていると感じています。	サービスの選択が自由になった支援費制度以降、いかに他の施設とは違うサービスを提供していくかは大きな課題としてやって来ております。毎日元気に通える場、自分の持つ力を充分発揮できる仕事の場、仲間と楽しいひと時をすごせる余暇の充実など工夫しながらやっております。
8	居宅介護事業	就労ができない。障害年金での生活。	訪問介護員等の質の向上を図るための研修機会を増やせるよう業務体制を整備して行きたい。
9	就労継続A型		障害者雇用に取り組み始めましたが、とりわけ精神の皆さんは、課題山積みで難しさを痛感しております。
10			利用者のニーズ（主に父母兄弟姉妹と成年後見人）を聞き、それに沿ったサービスプランを立てることが基本です。

	施設・事業所の種別	利用者にとって経済的な負担感の大きいサービスや経済的に困ってる方の実績などを御記入ください	利用者のニーズに応じたより質の高い適切なサービスを提供するために、施設・事業所が今後目指すべき取り組みや方向性について御記入ください。
11	障害者支援施設		入所受入れ、退所を通じ、それぞれ関わる外部機関との連携をスムーズにすること、パイプを築いていくことが大切となる。利用者を中心とした視点が特に重要である。
12	地域活動支援センター 型	当所は共同作業所のみのため通所利用者からはすべての費用は無料です。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安定就労を確保する為、企業からの受託業務を増やす。 ・利用者のレクリエーション機械を増やす。
13	就労継続支援B型	障害基礎年金が受給できない方がおります。特に精神障害の方や、一般企業で就労されている方です。紙の上では、障がい軽度でも就労して収入を得るには困難な方がいます。また、一般企業へ就労したとしても、健常者と比べれば決して収入が多いわけではありません。このような方は現状では、何の保証もなく将来設計がたちません。	<p>生産活動をするうえで、楽しく出来て儲かる作業の開拓。個々の特性に合った作業の開拓。職員の資質向上。</p> <p>利用される人が、80歳になるまでの人生設計を立てられるような、お手伝い。その為の事業所間の連携。</p>
14	共同生活介護（援助）	年金2級の方が多く、生保以外の方で、医療費が毎月多大にかかる利用者の負担はとて大きいのが現状です。	終のすみかにならざるを得ない利用者（親族に絶縁等）の終末期のケアは今後の大きな課題。一人一人のニーズに最大限応えられるよう、努力を怠らず、死後もケア出来るよう（墓参り等）、にゅうらいふでしか出来ない人間らしい取り組みを具現化して参りたいと考えます。
15	地域活動支援センター	市から当事者団体向けアンケートのヒヤリングをされるとの事なので、その時に御一緒に返答させて頂きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。	
16	地域活動支援センター（ ）		<p>当施設の主な利用対象者は“ひきこもり”といわれている人達です。背景は様々ですが、強度な不安、対人恐怖、自傷行為等も見られ、彼らの内面に抱えた辛さにできる限りつき合って行きたいと考えております。</p> <p>目指すべき取り組み・方向性 長・中期的な精神的フォロー 家族支援 社会参加・支援 他機関との連携</p>
17	居宅介護		<ul style="list-style-type: none"> ・研修の充実 ・社会資源の開発
18		家賃が高い	
19	精神科病院	実際問題として、病院、作業所などへ通う際の交通量のサポートがないこと。長野のような公共交通の不便な所は特に負担が大きく、施設を自分の好み、相性で選ぶことが難しい。	<p>（相談支援専門員配置）</p> <p>連携。一部のサービス提供事業所のケアプランナーが中心となるのではなく、その方に応じた一番近い支援者がケアプランを立て、周り連携してサポートしていく。本当の専門的サポートができていない。</p> <p>ACTのシステムを作る。（精神科領域においては）</p>

	施設・事業所の種別	利用者にとって経済的な負担感の大きいサービスや経済的に困ってる方の実績などを御記入ください	利用者のニーズに応じたより質の高い適切なサービスを提供するために、施設・事業所が今後目指すべき取り組みや方向性について御記入ください。
20	共同生活援助	当法人が現在、運営している「りんごの木」につきましては、知的障害者更生援護施設「水内荘」の保護者が、“親亡き後の子供達の将来を考え、老後の安らぎの場”として、特別養護老人ホーム「泉平ハイツ」を設置。それに伴わせて10人の知的障害者が利用できる福祉ホームとして、同一敷地内に建設したものであります。しかし、平成18年10月から法改正により福祉ホームから共同生活援助「りんごの木」として再スタートしたところであります。	
21		昼食代を実費負担とした場合、月額として大きくなり、工賃と差し引くとほとんど残らない。(現状は施設で負担しているが、将来的にこうなると思う。)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容をよりバラエティーの富んだものとし、利用者の選択肢を広げたい。同時に工賃を倍増させたい。 ・一人ひとりのニーズに応えられるよう、適正な職員数を配置し、職員の力量も高めていく。
22	聴覚障害者関係事業の受託事業所(地域生活支援事業)		サービス(制度)でカバーできないニーズに対して、事業所として何かの形で取り組み、いずれ事業化できるよう目指すことも必要だと考えます。
23	就労移行、就労継続B型、生活介護	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料の支払いが滞っており、工賃より天引きしている。 ・過去より(支援が入っていない頃の)借金がある。 ・働くことで得る収入が少ない人で、年金だけでは生活していくにはなかなか難しい人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所ごとの連携。 ・各事業所で抱えている課題で、個別のところではどうにもならないことを、適切な場で議論して対応していく。
24	就労移行、就労継続B型	自力の通園が出来ず、家族による送迎の負担。	工賃アップを目指し収入増となれば、様々な社会参加が見込める。
25	自立訓練	障害基礎年金の額に対して、グループホーム利用者の負担が大きすぎるように思います。家賃や光熱水費の個人負担は悪くないと思いますが、物件(建物)の取得方法や賃貸料金などにより、利用者毎、負担額に大きな差があるのは問題です。ある一定額以上の家賃等に対する公的支援が必要です。	当事者(サービス利用者)の方の願いやニーズ(課題)等をどれだけしっかりと把握できるかが、質の高いサービスを提供するための鍵になると思います。また、スタッフの人材育成、専門性向上のための研修なども重要だと考えています。
26		家族の扶養に入っているため、精神科デイケアの利用と精神科通院の医療費が合わせて月額1万円となり、負担となる場合がある。精神疾患発生時、年金を支払っていなかったために、障害年金の受給がなく家族の負担が大きくなる場合があり、利用者が地域移行する際の経済的負担は大きなネックとなっている。	利用者の相談や苦情に対する体制の充実やサービス改善活動などを促進するとともに、職員の資質の向上を図るため、職員研修に取り組んでいく。